

2023年度 電線需要見通し改訂概要

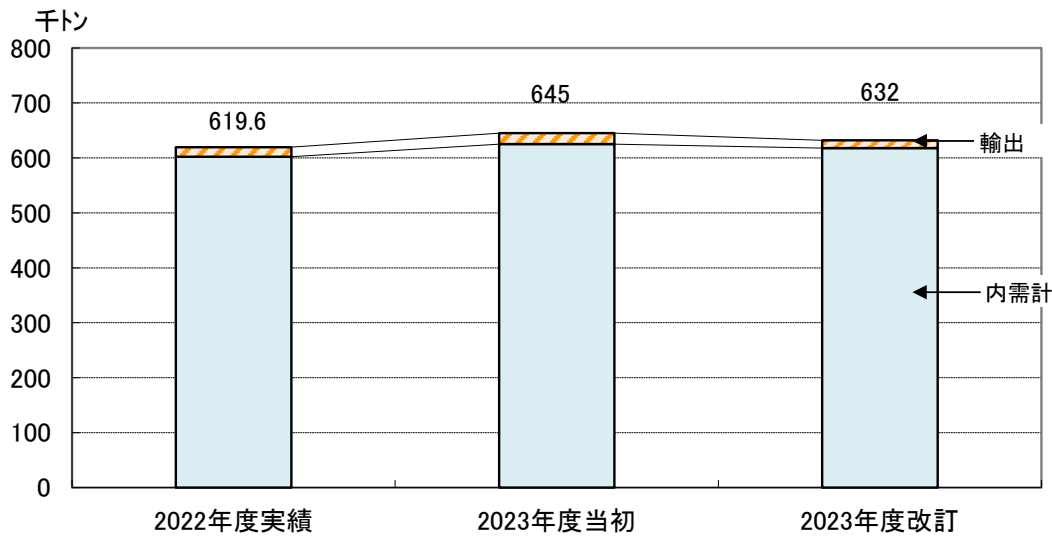
2023年9月
調査統計専門委員会

1. 2023年度需要見通しの前提

2023年度日本経済の見通し(前年度比%)

	当初	改訂
実質GDP成長率	+1.6%	+2.0%
民間最終消費支出	+1.6%	+0.6%
民間企業設備投資	+3.4%	+2.3%
民間住宅投資	+0.8%	+2.6%
鉱工業生産指数	+5.1%	+0.3%

2. 2023年度電線需要改訂予測結果



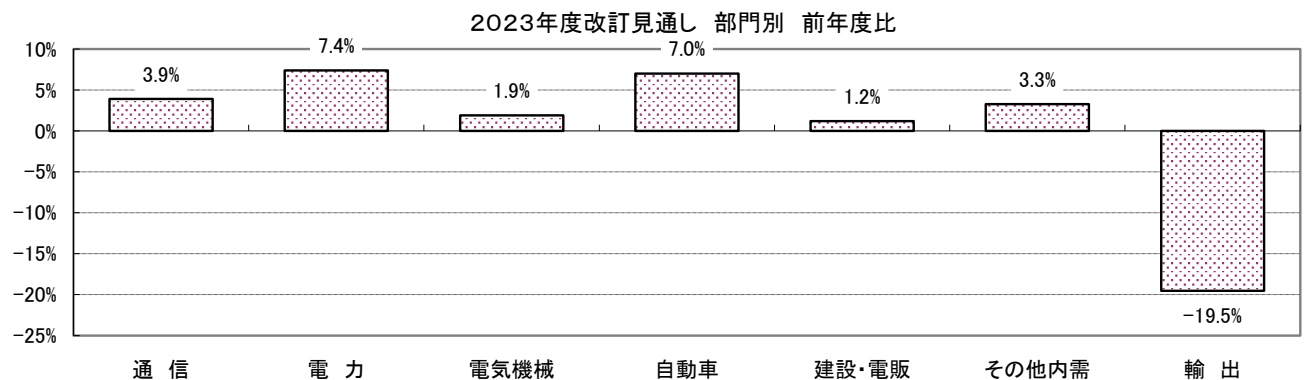
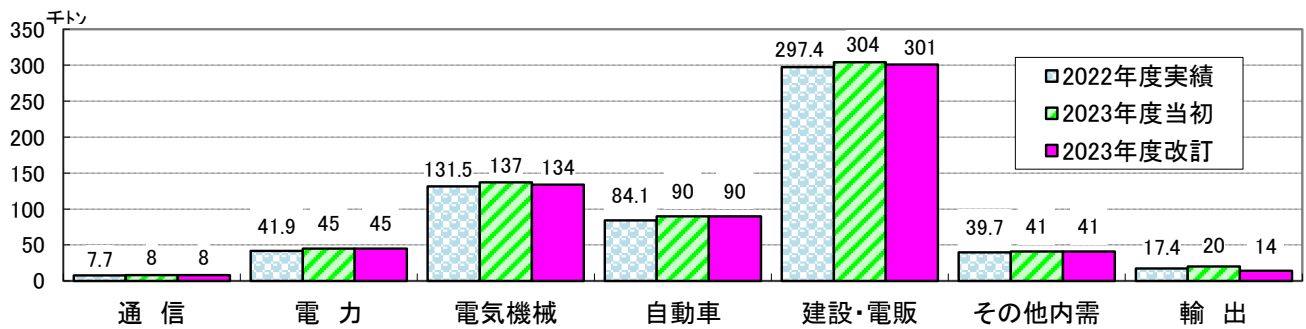
単位:千トン

銅 電 線	2022年度実績	2023年度当初	2023年度改訂	前年度比
内 需	602.2	625	618	2.6%
輸 出	17.4	20	14	-19.5%
合 計	619.6	645	632	2.0%

単位:千トン

ア ル ミ 電 線	2022年度実績	2023年度当初	2023年度改訂	前年度比
合 計	22.3	23	24	7.6%

3. 2023年度各需要部門別出荷見通し



部門	コメント
通信	通信インフラ環境の光化進展により、大手通信事業者向けメタルケーブル需要は現状維持として、当初据置、2022年度比+3.9%と予測。
電力	資材・人員不足の懸念があるものの、設備更新・再生エネルギー関連の需要により、当初据置、2022年度比+7.4%と予測。
電気機械	半導体不足は徐々に解消されると見て、当初比減ながら、2022年度比+1.9%と予測。
重電	経年設備の更新、再生可能エネルギー関連の需要増により堅調に推移し、当初比減ながら、2022年度比+3.1%と予測。
家電	高性能家電需要もあるが、コロナ禍による巣ごもり需要が落ち着き、当初比減、2022年度比-0.9%と予測。
電子・通信	IoT、医療関連、FA・ロボットなどの需要により、当初比減ながら、2022年度比+3.3%と予測。
電装品	自動車生産台数の回復により、当初据置、2022年度比+2.9%と予測。
自動車	半導体不足による供給制約が緩和し、当初据置、2022年度比+7.0%と予測。
建設・電販	材料・人員不足から大きな伸びはみこめないものの、コロナ禍による工事延期の解消や、大型都市開発、工場建設需要により、当初比減ながら、2022年度比+1.2%と予測。
その他内需	民間設備投資の回復により、当初据置、2022年度比+3.3%と予測。
輸出	昨年と比較し大型案件が少なく、また、中国の景気低迷等により、当初比減、2022年度比-19.5%と予測。

以上

2023年度電線需要見通し改訂
(総括表)

2023年9月
単位:千トン

区分 年度		出荷			
		銅電線		アルミ電線	
		実績及び見通し	前年度比	実績及び見通し	前年度比
			(%)		(%)
2016(実績)		680.2	-2.7	28.4	8.9
2017(実績)		686.9	1.0	28.5	0.5
2018(実績)		697.8	1.6	29.9	5.0
2019(実績)		694.2	-0.5	31.0	3.6
2020(実績)		622.6	-10.3	31.9	2.8
2021(実績)		630.4	1.2	26.4	-17.0
2022 実績	上期	305.7	(0.1)	10.3	(- 24.4)
	下期	313.9	(- 3.4)	12.0	(-5.9)
	計	619.6	-1.7	22.3	-15.5
2023 当初 見通し	上期	315	(3.0)	11	(6.8)
	下期	330	(5.1)	13	(8.3)
	計	645	4.1	23	3.1
2023 改訂 見通し	上期	306	(0.1)	12	(16.5)
	下期	326	(3.9)	13	(8.3)
	計	632	2.0	24	7.6

[KN230913]

(注)1. ()内は前年同期比を示す。

2. 四捨五入のため計と合わない場合もある。

3. 当初…2023年3月、改訂…2023年9月策定のもの。

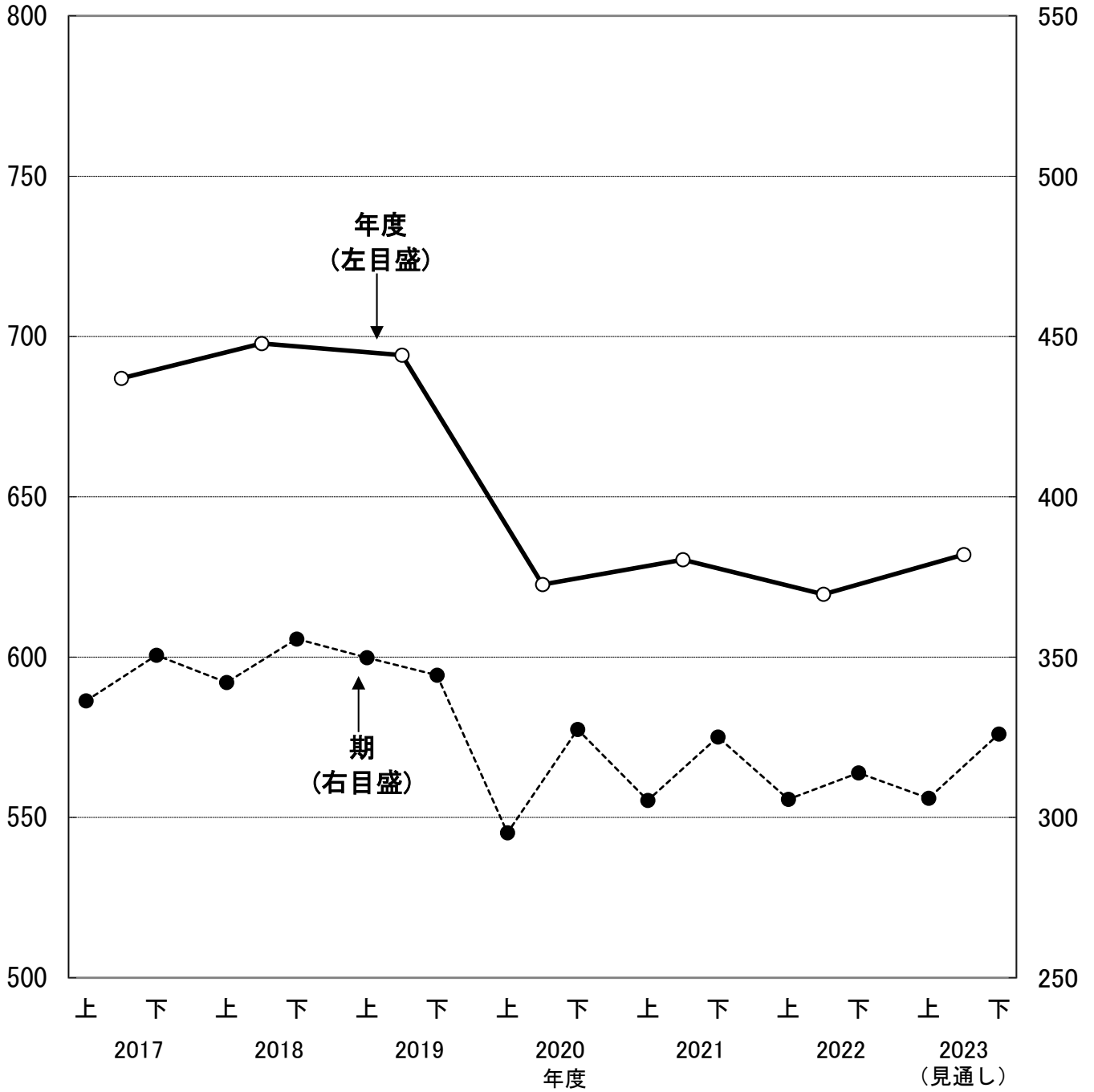
図1

2023年9月

出荷推移表 (銅電線)

年度
千トン

上下期
千トン



2023年度電線需要見通し改訂
(主要部門別)

2023年 9月

単位:千トン

部 門	年度 期 (実績)	出 荷						
		2023 (見 通 し)						23/22 (%)
		当 初			改 訂			
		上期	下期	計	上期	下期	計	
通 信	7.7	4	4	8	4	4	8	3.9
電 力	(15.4)	(7)	(8)	(15)	(8)	(8)	(16)	(3.9)
電気機械	131.5	67	70	137	64	70	134	1.9
重電	19.4	/	/	21	/	/	20	3.1
家電	11.1	/	/	12	/	/	11	-0.9
電子・通信	27.1	/	/	29	/	/	28	3.3
電装品	51.5	/	/	53	/	/	53	2.9
その他	22.4	/	/	22	/	/	22	-1.8
自 動 車	84.1	44	46	90	45	45	90	7.0
建設・電販	297.4	148	156	304	146	155	301	1.2
その他内需	(6.3)	(3)	(4)	(7)	(3)	(4)	(7)	(11.1)
内 需 計	39.7	20	21	41	20	21	41	3.3
	(21.8)	(10)	(12)	(22)	(11)	(12)	(23)	(5.5)
輸 出	602.2	305	320	625	300	318	618	2.6
	(0.6)	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)	(66.7)
合 計	17.4	10	10	20	6	8	14	-19.5
	(22.3)	(11)	(13)	(23)	(12)	(13)	(24)	(7.6)
	619.6	315	330	645	306	326	632	2.0

(注) 1. ()内はアルミ電線を示し外数。

[KN230913]

2. 四捨五入のため、計と合わない場合もある。

3. 当初…2023年3月、改訂…2023年9月策定のもの。

2027年度 中期電線需要見通し概要

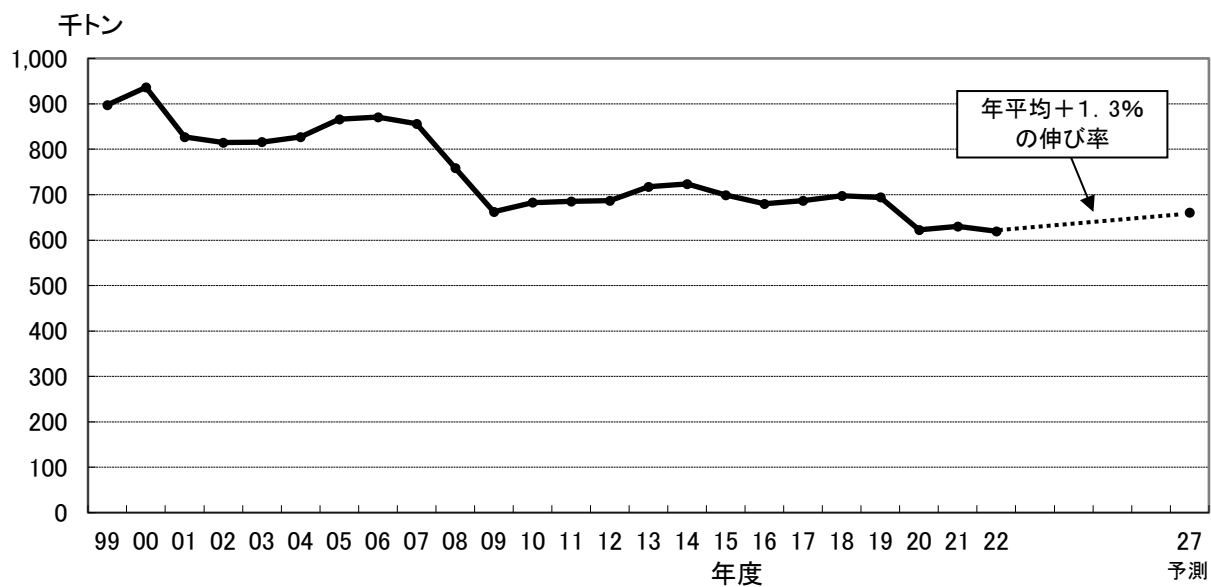
2023年9月
調査統計専門委員会

1. 2027年度中期需要見通しの前提

2022～2027年度日本経済の見通し(年平均伸び率%)

実質GDP成長率	+1.2%
民間最終消費支出	+1.1%
民間企業設備投資	+1.8%
民間住宅投資	+0.7%
公的固定資本形成	+1.4%
鉱工業生産指数	+0.9%

2. 2027年度中期電線需要予測結果



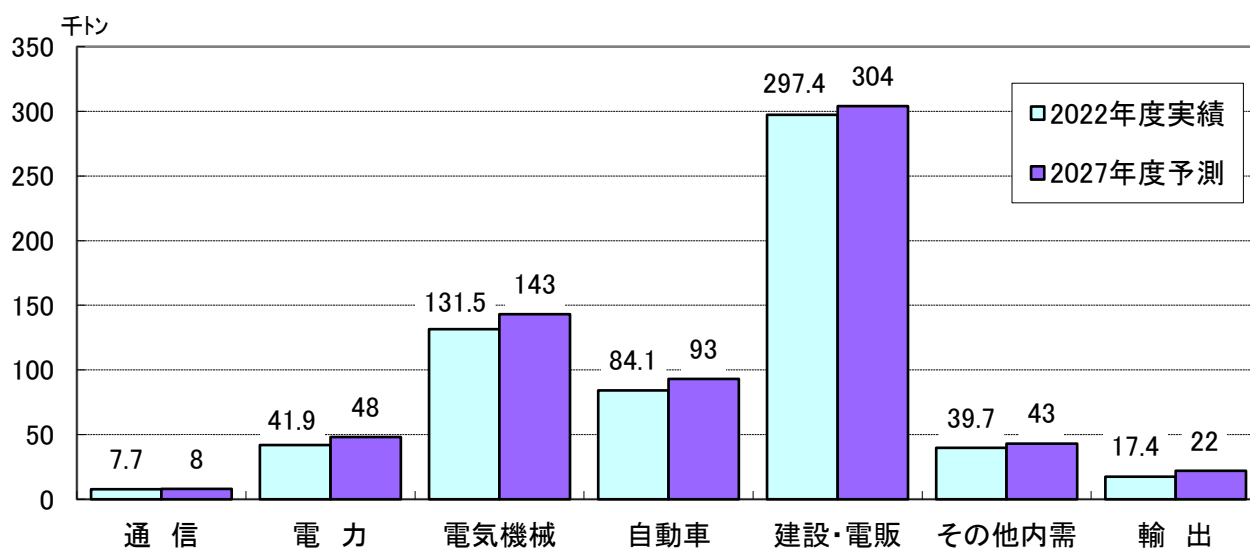
単位:千トン

銅 電 線	2022年度実績	2027年度予測	22～27 年平均伸び率
内 需	602.2	639	1.2%
輸 出	17.4	22	4.8%
合 計	619.6	661	1.3%

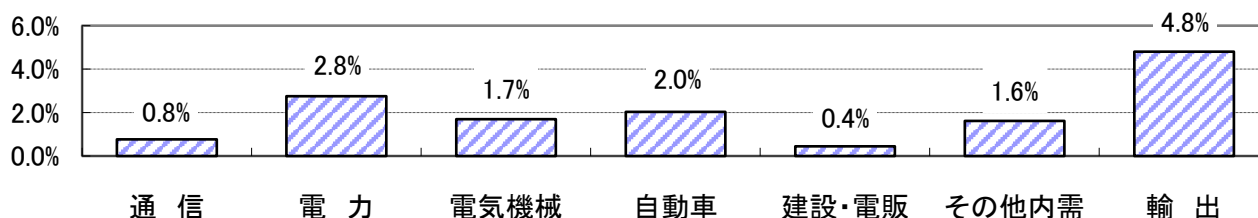
単位:千トン

アルミ電線	2022年度実績	2027年度予測	22～27 年平均伸び率
合 計	22.3	25	2.3%

3. 2027年度各需要部門別出荷見通し



2027年度中期見通し 部門別 2022～2027年平均伸び率



部門	コメント
通信	データセンター需要はあるものの、通信インフラ環境の光化進展により、メタルケーブルの大幅な需要増は見込めないとみて、2022年度比微増と予測。
電力	再生可能エネルギー拡大、設備更新による需要増が見込まれ、2022年度比増と予測。
電気機械	民間設備投資や再生可能エネルギー関連の需要増を期待し、2022年度比増と予測。
重電	経年設備の更新、再生可能エネルギー拡大による設備更新需要が見込まれ、2022年度比増と予測。
家電	製造業の国内生産回帰も期待されるが、海外生産シフトの流れも継続し、22年度比微減と予測。
電子・通信	AI、IoT、医療関連、FA・ロボットなどの需要により、2022年度比増と予測。
電装品	CASEの進展による需要増は長期的に継続するとみて、2022年度比増と予測。
自動車	世界的にBEVの急速な需要増が見込まれる中、ICE車(エンジン車)中心の日本では自動車生産台数伸び悩みの懸念があるが、国内ではEV車・安全性能向上車への買い替え需要も期待されることから2022年度比増と予測。
建設・電販	首都圏を中心とした再開発物件の継続、老朽インフラ関連工事、更に再エネ、カーボンニュートラルに向けた工事も期待されるが、人口減による建設投資の縮小も続くともみられ、2022年度比微増と予測。
その他内需	民間設備投資の堅調な回復に期待し、2022年度比増と予測。
輸出	洋上風力や連系線の需要増により2022年度比増と予測。

以上

表1

中期電線需要見通し (出荷ベース)

2023年9月

単位:千トン

部門	年度	2021		2022		2023		2027		27/22	27/23
		実績	実績	構成比	見通し改訂	構成比	予測	構成比	年平均伸び率	年平均伸び率	
通信		9.0	7.7	(%) 1.2	8	(%) 1.3	8	(%) 1.2	(%) 0.8	(%) 0.0	
電力		(14.9) 47.2	(15.4) 41.9	(69.1) 6.8	(16) 45	(66.7) 7.1	(17) 48	(68.0) 7.3	(2.0) 2.8	(1.5) 1.6	
電気機械		136.6	131.5	21.2	134	21.2	143	21.6	1.7	1.6	
	重電	20.1	19.4	/	20	/	21	/	1.6	1.2	
	家電	11.2	11.1	/	11	/	11	/	-0.2	0.0	
	電子・通信	28.7	27.1	/	28	/	31	/	2.7	2.6	
	電装品	53.7	51.5	/	53	/	58	/	2.4	2.3	
	その他	22.9	22.4	/	22	/	22	/	-0.4	0.0	
自動車		83.9	84.1	13.6	90	14.2	93	14.1	2.0	0.8	
建設・電販		298.1	297.4	48.0	301	47.6	304	46.0	0.4	0.2	
その他内需		(5.8) 42.2	(6.3) 39.7	(28.3) 6.4	(7) 41	(29.2) 6.5	(7) 43	(28.0) 6.5	(2.1) 1.6	(0.0) 1.2	
内需計		(20.7) 617.1	(21.8) 602.2	(97.8) 97.2	(23) 618	(95.8) 97.8	(24) 639	(96.0) 96.7	(1.9) 1.2	(1.1) 0.8	
輸出		(5.7) 13.3	(0.6) 17.4	(2.7) 2.8	(1) 14	(4.2) 2.2	(1) 22	(4.0) 3.3	(10.8) 4.8	(0.0) 12.0	
合計		(26.4) 630.4	(22.3) 619.6	(100.0) 100.0	(24) 632	(100.0) 100.0	(25) 661	(100.0) 100.0	(2.3) 1.3	(1.0) 1.1	

[KN230913]

- (注) 1. ()内はアルミ電線を示し外数。
2. 四捨五入のため、計と合わない場合がある。

